

議案第 1 号

平成 2 2 事業年度事業報告及び収支決算の承認について

別紙、平成 2 2 事業年度事業報告及び収支決算について承認を求める。

以上提出する。

平成 2 3 年 2 月 2 3 日

北海道農業法人協会
会長 堀江 英一

平成 22 事業年度 事業報告

活動フラッシュ！

■第3回のぶし経営塾「JGAP は信頼できる農場の目印」

7月15日（木）に札幌にて、サポーター企業会員の㈱アグリコンパスの協力を得て、上記研修会を開催しました。今回は、JGAP（Japan Good Agricultural Practice 日本の良い農業のやり方）を専門家から直接学べる貴重な機会ということで、約20名が参加しました。

第一部の講師は、NPO 法人日本 GAP 協会の事務局長を勤める武田泰明氏、「農産物ブランドというのは消費者への約束である。約束である以上、安全の保証をしなければならない。」そのための安定的な仕組みが JGAP という基本的な考え方が紹介されました。

第二部では、インターネット型生産工程管理システム「アグリプランナー」（日本 GAP 協会推奨）をご紹介いただきました。農業の生産工程への関心、IT化への社会的ニーズはさらに高まりそうです。



■北海道・東北農業法人 WEEK2010 in 青森

去る8月2日（月）～3日（火）に古牧温泉青森屋を主会場に WEEK2010 が開催されました。今年は「人材の育成と農業法人の発展に向けて」をテーマに北海道・東北の農業法人や関係者、約150名が集まり開催されました。

青森県の三村知事からの「これもニンニクパワー」という大変元気の出るご挨拶がとても印象的でした。

基調講演は「新・平成の農業と日本一の人材育成を目指して」を演題とした長野県（有）トップリバーの嶋崎社長からいただきました。

2日目は、おいらせ町の農業法人、㈱あぐりの里、そして県協会会長の会社でもある㈱柏崎青果です。

交通の面からは優位とは言えない立地にあって、地域の法人が手を結び、「ニンニク」の特産化や農業の「観光資源化」に取り組むご苦労が伝わる視察でした。



■新・農業人フェア 2010

去る10月24日（日）に札幌コンベンションセンターにて、上記フェアが開催されました。新・農業人フェアというのは、農林業に関心のある人達が職場への理解や就職を目的に集まるイベントで、道内自治体や農林業の関係団体、農業法人などが参加しブース出展し、県外からの参加も多く見られます。



当協会からも計 13 法人が参加し、1 日の入場者数は約 900 人程度ということでした。

1 法人ずつ手ごたえをお聞きしましたが、畑作や稲作の法人には比較的多くの方々が集まっていたようですが、今年は昨年と比べ年齢層が高いという指摘もありました。

最も印象に残ったのは、各ブースのプレゼンテーションの違いです。背後のボードを活用して自分たちの農場の特徴を伝えようとする法人、最近、農業就職した若者を同行させ実体験に訴える法人、本イベントでは登録のみを行い別に説明会を開催する予定の法人など、様々な取組が見られました。



■国内視察研修（石川県、富山県）

今年の研修は約 40 名の参加を得て、12 月 8 日（水）～10 日（金）の 2 泊 3 日で石川県、富山県を視察しました。

ブドウ栽培からレストラン事業やウェディング事業などの多角化とともに多彩な商品開発を手がけ、相乗的な事業展開を図る「株式会社ぶどうの木」をはじめ、もち米商品の開発や直売所を運営する地域の複数戸法人「株式会社六星」、伝統野菜であるサツマイモの加工により地域特産の保全とブランド化を推進する「有限会社かわに」など、強力な経営者のお話に触れ、参加者の多くが衝撃的な印象を持ち帰ったのではないのでしょうか。

また、初日には石川県農業法人協会との交流会も開催するなど、大変有意義な国内視察となりました。



■第 7 回のぶし経営塾「サポーター企業及び関係機関との情報交換会」

去る 12 月 16 日（木）ホテル札幌ガーデンパレスにて約 80 名の参加のもと、関係機関 7 機関、サポーター企業 12 社のご協力を得て、農業や食産業の活性化、人材育成等に関するプレゼンテーション及び情報交換会を開催しました。

会に先立ち、北海道農政事務所の畠次長より、農政を取り巻く情勢や 6 次産業化の取組などについて紹介をいただきました。

直接のご担当者から様々な角度からの取組をお聞きする機会とあり、農業情勢への理解や、活用可能な施策情報の入手、さらには今後に生かせる人脈形成に収穫を得られる会となりました。一方で、縦割りではない形での情報共有の必要性を感じた会員が多かったようです。

■第8回のぶし経営塾「道南地区農業法人セミナー」～道南に根ざした法人づくり～

12月20日（月）、北斗市農業振興センターにて、檜山振興局、渡島総合振興局との共催により「道南地区農業法人セミナー」を開催しました。

この会は、当協会が力を入れる「地域別交流事業」の一つで、今回は道南地域における法人化あるいは法人育成の必要性から、農業法人の設立や経営に関心のある農業者、関係機関の方など、約120名が参加して行われました。

日本農業法人協会の紺野専務理事からの全国法人の事例紹介や政策概要についての講演に続き、第二部では、堀江会長、末藤副会長が登場し、法人化で目指すコスト低減方策手法や地域農業を守る法人をテーマにパネルディスカッションが行われ、参加者は熱心にメモを取っていました。



■第9回のぶし経営塾「グローバルセミナー【その1】

～北海道農業から世界への視野を拓く～

海外への輸出などの関心の高まりを受け、1月18日（火）、KKRホテル札幌にて開催しました。ジェトロ、日本農業法人協会、食クラスター連携協議体の協力により、セミナー約80名、事前勉強会約25名の盛会となりました。

講師として、農林水産省総合食料局貿易企画班班長の森寛敬氏（国で進める米の中国輸出）、ジェトロ上海の輸出コーディネーターでJoint B&K代表取締役の樽家邦興氏（上海への輸出）、当協会の顧問であり北海道銀行参与の西山泰正氏（ロシア極東地域でのアグリビジネス）をお招きし、輸出や海外生産拠点形成などの可能性を探る有意義な会となりました。



■酪農部会 ～ 酪農生産原価基準研究会

主に大規模酪農法人で構成する「酪農部会」では、これまで酪農研修を実施するほか、対象を会員外にも拡大した情報交換組織「MILK.net」など活発な活動を展開してきています。

今年度は各地域の世話人で構成する「世話人会」を3回開催し、自らの経営の管理ポイントを知ることや道内の経営者相互の原価情報の交換による経営改善の重要性が確認され、平成23事業年度より「酪農生産原価基準研究会」を設立することになりました。当面は税理士事務所や試験研究機関など多くの協力を得て基準策定に取り組みます。



1 会員（平成23年1月31日現在）

(1) 正会員 : 286 法人

<H22 事業年度 入会> 6 法人

<H22 事業年度 退会> 10 法人

(2) 賛助会員 : 3 法人

北海道農業会議

財団法人 北海道農業開発公社

財団法人 北海道農業企業化研究所

(3) 北海道農業サポータークラブ会員 : 47 社（手続き中2社）

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. JA 三井リース株式会社 | 26. ホーマック 株式会社 |
| 2. 株式会社 北海道銀行 | 27. 株式会社 パソナ |
| 3. 株式会社 北洋銀行 | 28. 株式会社 損害保険ジャパン |
| 4. 日本ハム 株式会社 中央研究所 | 29. 大洋リアルエステート 株式会社 |
| 5. MPアグロ 株式会社（丸善薬品㈱） | 30. 株式会社 帝国データバンク 札幌支店 |
| 6. 日立キャピタル 株式会社 北海道営業本部 | 31. 日軽物流 株式会社 北海道支店 |
| 7. 株式会社 セルテ | 32. 株式会社 北海道電子計算センター |
| 8. 片倉チッカリン 株式会社 | 33. VJBC 日越ビジネス 株式会社 |
| 9. 株式会社 娑吽娑羅 | <u>（新年度会員）</u> |
| 10. 株式会社 北海道日本ハムファイターズ | 34. 株式会社 サングリソ太陽園 |
| 11. 株式会社 ノマド | 35. 株式会社 丹波屋 |
| 12. ゴッツォ 株式会社 | 36. エスエスコンサルタント事務所 |
| 13. 有限会社 寺島デザイン事務所 | 37. 株式会社 アグリコンパス |
| 14. ナラサキ産業 株式会社 北海道支社 | 38. 株式会社 アサヒ特販 |
| 15. ピーエス 株式会社 | 39. キャピラノ 株式会社 |
| 16. アクティブ 北海道 株式会社 | 40. シンジェンタジャパン 株式会社 |
| 17. 株式会社 イークレスト | 41. 北海道電機 株式会社 |
| 18. 株式会社 北海道協同組合通信社 | 42. 株式会社 ノザワ フラノ事業所 |
| 19. 株式会社 北清 | 43. 税理士法人 中野会計事務所 |
| 20. 明治飼糧 株式会社 道東支店 | 44. カツウラ建機 株式会社 |
| 21. 全国軽自動車運送連合会 札幌営業所 | 45. 日本曹達 株式会社 札幌営業所 |
| 22. 合同会社 のこたべ | 46. 株式会社 DNP北海道 |
| 23. 福田経営センター 株式会社 | 47. 税理士法人 池脇会計事務所 |
| 24. 株式会社 北海道アルバイト情報社 | <u>（現在手続き中）</u> |
| 25. 株式会社 農業技術通信社 | 北海道日紅株式会社、A I Gスター生命 |

2 会議の開催

(1) 総会及び法人経営セミナー

1) 第 15 回定期総会

- 開催日：平成 22 年 2 月 24 日（水）
- 場 所：アパホテル&リゾート札幌（札幌市南区川沿 4 条 2 丁目）
- 出席者：130 名
- 協議事項：
 - 第 1 号議案 平成 21 事業年度事業報告及び決算承諾について
 - 第 2 号議案 平成 22 事業年度事業計画及び収支予算の設定について
 - 第 3 号議案 平成 22 事業年度会費の賦課及び徴収方法について
 - 第 4 号議案 北海道農業法人協会規約の改正について
 - 第 5 号議案 理事及び監事の選任について

2) 法人経営セミナー

- 開催日：平成 22 年 2 月 23 日（火）
- 場 所：アパホテル&リゾート札幌（札幌市南区川沿 4 条 2 丁目）

(2) 会長・副会長・事務局長会議

1) 前年度第 5 回を平成 22 年 2 月 1 日に開催

2) 第 1 回引継ぎ会

- 開催日：平成 22 年 3 月 15 日（月）
- 場 所：札幌あおば生命ビル 10 階（札幌市中央区南 1 条西 6 丁目 15-1）
- 協議事項
 - ・引継ぎ、今後の組織づくりについて

3) 第 2 回

- 開催日：平成 22 年 6 月 15 日（火）
- 場 所：札幌あおば生命ビル 10 階（札幌市中央区南 1 条西 6 丁目 15-1）
- 協議内容：
 - ・都道府県会長会議ほかの報告と対応について
 - ・中央会からの要請事項と対応について
 - ・役員会の進行について

4) 第 3 回

- 開催日：平成 22 年 9 月 2 日（木）
- 場 所：ホテルポールスター札幌（札幌市中央区北 4 条西 6 丁目）
- 協議内容：
 - ・協会の内部規定について
 - ・役員会の運営について

5) 第4回

- 開催日：平成22年12月16日（木）
- 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区北1条西6丁目）
- 協議内容：
 - ・今後の予定、懸案事項について
 - ・総会&経営セミナーの企画について

(3) 役員会

1) 前年度第4回を平成22年2月1日（月）に開催

2) 第1回

- 開催日：平成22年6月15日（火）
- 場 所：札幌あおば生命ビル 9階（札幌市中央区南1条西6丁目15-1）
- 協議事項：
 - ・口蹄疫支援の対応について
 - ・今年度の協会活動の方針について
 - ・部会や研究会の設置運営方法について
 - ・社団法人日本農業法人協会の会員拡大への協力について

3) 第2回

- 開催日：平成22年9月2日（木）
- 場 所：プレスト1・7 2階 B会議室（札幌市中央区北1条西7丁目1）
- 協議事項：
 - ・協会の運営について
 - ・今年度事業の企画・分担について

3) 第3回

- 開催日：平成22年12月16日（木）
- 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区北1条西6丁目）
- 協議事項：
 - ・今後の活動と予算配分について
 - ・総会&経営セミナー開催について
 - ・来期の事業計画について

3 のぶし経営塾の展開

1) 第1回のぶし経営塾「福利厚生研修会」

- 開催日：平成22年2月19日（金）
- 場 所：鶴居村幌呂農村環境改善センター（鶴居村幌呂東2丁目21番地）
- 主 催：釧路中部農業法人会
- テーマ：「福利厚生を利用した人材確保について」
- 講 師：社会保険労務士・行政書士 遠藤敏事務所 遠藤 敏 氏
- 参加者：20名

- 2) 第2回のぶし経営塾「釧路中部地区農業法人会総会ならび総合研修会」
- 開催日：平成22年6月2日（水）
 - 場 所：鶴居村幌呂農村環境改善センター（鶴居村幌呂東2丁目21番地）
 - 主 催：釧路中部農業法人会
 - テーマ：総会・総合研修会「これからの農業経営について」
 - 講 師：明治飼糧酪農サポートセンター 畠山 尚史 氏
 - 参加者：23名
- 3) 第3回のぶし経営塾「JGAPは信頼できる農場の目印」
- 開催日：平成22年7月15日（木）
 - 場 所：札幌あおば生命ビル 9階（札幌市中央区南1条西6丁目15-1）
 - 主 催：北海道農業法人協会
 - テーマ：「JGAPは信頼できる農場の目印」
 - 講 師：NPO法人日本GAP協会専務理事事務局長 武田 泰明 氏
 - 参加者：19名
- 4) 第4回のぶし経営塾「釧路中部地区農業法人会 女性の集い」
- 開催日：平成22年7月30日（金）
 - 場 所：ウッディホテル&レストラン 夢工房（阿寒郡鶴居村字下幌呂）
 - 主 催：釧路中部農業法人会
 - テーマ：「業務を円滑に進めるために～命を預かる職場の引継ぎ方法について～」
 - 講 師：社会福祉法人 音別憩いの郷 井上 真紀子 氏
 - 参加者：9名
- 5) 第5回のぶし経営塾「戸別所得補償制度説明会」
- 開催日：平成22年10月15日（金）
 - 場 所：ロワジールホテル旭川 2階 ウェストルーム（旭川市7条通6丁目）
 - 主 催：上川管内農業法人ネットワーク、北海道農業法人協会
 - テーマ：「農業者戸別所得補償制度について～平成23年度概算要求～」
 - 講 師：農林水産省大臣官房 参事官 山口 英彰 氏
 - 参加者：57名
- 6) 第6回のぶし経営塾「北海道TMRセンター連絡協議会 第5回研修会」
- 開催日：平成22年11月4日（木）
 - 場 所：第二水産ビル 8階 大会議室（札幌市中央区北3条西7丁目）
 - 主 催：北海道TMRセンター連絡協議会
 - テーマ：「農政転換期を迎えた自給飼料型畜産の将来展望」
 - 講 師：東京大学大学院 教授 鈴木 宣弘 氏
 - 参加者：26名
- 7) 第7回のぶし経営塾「サポータークラブ企業及び関係機関との情報交換会・交流会」
- 開催日：平成22年12月16日（木）

- 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス 孔雀の間（札幌市中央区北1条西6丁目）
- 主 催：北海道農業法人協会 企画委員会
- テーマ：「サポータークラブ企業及び関係機関との情報交換・交流」
- 参加者：78名

8)第8回のぶし経営塾「道南地区農業法人セミナー～地域に根ざした法人づくり～」

- 開催日：平成22年12月20日（月）
- 場 所：北斗市農業振興センター（北斗市東前74-2）
- 主 催：渡島総合振興局、檜山振興局、北海道農業法人協会
- テーマ：「法人の事例紹介・施策の概要について」
- 講 師：社団法人日本農業法人協会 専務理事 紺野 和成 氏
- 参加者：120名

9)第9回のぶし経営塾「グローバルセミナー【その1】 北海道農業から世界への視野を拓く」

- 開催日：平成23年1月18日（火）
- 場 所：KKRホテル札幌 丹頂の間（札幌市中央区北4条西5丁目1番地）
- 主 催：北海道農業法人協会、社団法人日本農業法人協会、独立行政法人日本貿易振興機構
- 協 力：食クラスター連携協議体
- テーマ：「輸出の現状と可能性について」
- 講 師：農林水産省総合食料局食糧部食糧貿易課貿易企画班 班長 森 寛敬 氏
Joint B & K（上海皆信商務諮詢有限公司／上海皆信国際貿易有限公司）
董事 総経理 樽家 邦興 氏
株式会社北海道銀行 参与 西山 泰正 氏
- 参加者：64名

4 交流活動

(1)国内外視察交流会

1)千葉県視察研修

- 開催日：平成22年2月15日（月）～17日（水）
- 場 所：東京都、千葉県
- 視察先：
 - ・農業生産法人和郷園視察、意見交換
 - ・アンテナショップ「北海道 FOODIST」、直売所「クラフト」視察
 - ・千葉県農業法人協会との交流会
- 参加者：32名

2) 石川県&富山県研修

- 開催日：平成22年12月8日（水）～10日（金）
- 場 所：石川県、富山県
- 視察先：
 - ・株式会社ぶどうの木 視察、意見交換
 - ・株式会社六星生産組合 視察、意見交換

- ・株式会社あら与 視察
- ・有限会社かわに 視察、意見交換
- ・石川県農業法人協会との交流会

○参加者：37名

5 専門活動

(1) 専門委員活動

1) 企画委員会

第1回企画委員会議

- 開催日：平成22年10月11日（月）
- 場 所：一閣ビル 5階（札幌市中央区南2条西6丁目8-14）
- 協議内容：交流会企画・概要について

第2回企画委員会議

- 開催日：平成22年10月26日（火）
- 場 所：一閣ビル 5階（札幌市中央区南2条西6丁目8-14）
- 協議内容：交流会内容について

第3回企画委員会議

- 開催日：平成22年12月28日（火）
- 場 所：有限会社大塚農場 事務所（石狩郡当別町字東裏3122番地）
- 協議内容：第16回総会&経営セミナー2011について

(2) 部会活動

1) 環境資材研究会発足会

第1回

- 開催日：平成22年7月1日（木）
- 場 所：札幌あおば生命ビル 9階（札幌市中央区南1条西6丁目15-1）
- 参加者：10名
- 協議内容：今後の活動について

2) 酪農部会

第1回世話人会

- 開催日：平成22年7月26日（月）
- 場 所：リッチモンドホテル帯広駅前 会議室（帯広市西2条南11-17）
- 参加者：11名
- 協議内容：酪農経営の現状と見通しについて

第2回世話人会

- 開催日：平成22年11月5日（金）
- 場 所：どさんこ商品研究所 会議室
（札幌市中央区北1条西4丁目2-2 札幌ノーズプラザ B1）

- 参加者：10名
- 協議内容：
 - ・酪農経営の現状と取り巻く情勢について
 - ・各地域・経営の生産原価と活用方向について
 - ・今後の活動方針について

第3回世話人会

- 開催日：平成22年12月13日（月）
- 場所：リッチモンドホテル帯広駅前 会議室（帯広市西2条南11-17）
- 参加者：9名
- 協議内容：
 - ・生産原価の算出方法について
 - ・意見交換（算出要領や今後の運営方法について）
- アドバイザー：
 - ・松田孝志税理士事務所 松田 孝志 氏
 - ・明治飼糧株式会社 畠山 尚史 氏

3) 経営開発部会（多様な経営展開推進検討会）

道外市場調査

- 調査日：平成22年3月11日（木）～14日（日）
- 調査地：社団法人日本農業法人協会10周年記念イベント、関東圏の百貨店や専門店等
- 調査員：経営開発部会メンバー
- 調査内容：商品、並べ方、売り方やお客様の行動などや、お客様の購買行動の詳細と売れ筋のデータ収集

ワーキング開催

- 開催日：平成22年3月29日（月）
- 場所：アールスペース OYOYO（札幌市南1条西6丁目 第2三谷ビル6階）
- 参加者：経営開発部会メンバー、ゲスト
- 協議内容：土産店の事業計画素案の検討

6 人材確保活動

(1)『新・農業法人フェア』への協力

- 開催日：平成22年10月24日（日）
- 場所：札幌コンベンションセンター（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）
- 主催：全国農業会議所、全国新規就農相談センター、社団法人日本農業法人協会
- 法人協会参加法人：13法人

(2)求人情報収集及び更新

1) 求人情報一斉調査1回目

- 開催日：平成22年5月28日（金）締切
- 調査主体：財団法人北海道農業開発公社(担い手育成センター)、北海道農業法人協会
- 回答数：33法人

2) 求人情報一斉調査 2 回目

- 開催日：平成 22 年 9 月 3 日（金）締切
- 開催主体：財団法人北海道農業開発公社(担い手育成センター)、北海道農業法人協会
- 回答数：21 法人

3) 求人情報一斉調査 3 回目

- 開催日：平成 22 年 12 月 17 日（金）締切
- 開催主体：財団法人北海道農業開発公社(担い手育成センター)、北海道農業法人協会
- 回答数：24 法人

(3)『農業インターンシップ』の協力

- 開催日：平成 22 年度
- 開催主体：社団法人日本農業法人協会
- 事業内容：全国の農業法人での就業体験

(4)『農の雇用事業』への協力

1) 説明会 札幌会場

- 開催日：平成 22 年 6 月 9 日（水）
- 場 所：北農健保会館 2 階 エルム（札幌市中央区北 4 条西 7 丁目）
- 主 催：北海道農業会議

2) 説明会 帯広会場

- 開催日：平成 22 年 6 月 11 日（金）
- 場 所：帯広東急イン 2 階 会議室（帯広市西 1 条南 11 丁目）
- 主 催：北海道農業会議

(5)八紘学園学生対象就職相談会へのブース参加

- 開催日：平成 21 年 7 月 3 日（土）
- 場 所：八紘学園北海道農業専門学校校舎 2 階講堂
- 主 催：学校法人八紘学園
- 開催内容：学内就職相談会、農業法人就職の説明

(6)『ほっかいどう農業法人経営発展雇用支援事業』への協力

- 募集期間：平成 22 年 6 月 14 日（月）～6 月 22 日（火）
- 実施主体：北海道
- 業務受託者：株式会社パソナ パソナ・札幌（サポーター企業会員）
- 目 的：農業法人・地域社会の更なる発展と雇用創出
- 事業内容：異業種等の従事経験がありスキルを有する失業中の人材 10 名を業務受託者である株式会社パソナ・札幌が雇用し、新たな農業ビジネスに取り組む法人等に長期間の派遣を行う

(7)『がんばる！農業法人サポート事業』への協力

○募集期間

- ・第1次募集：平成22年5月19日（水）～6月11日（金）
- ・第2次募集：平成22年6月14日（月）～定員まで

○実施主体：北海道

○業務受託者：財団法人北海道農業企業化研究所

○事業内容：スキルを有する失業中の人材30名を事業受託者であるHAL財団が雇用し、新たな農業ビジネスに取り組む法人等や法人グループに最長5ヶ月間送り込む

7 情報活動

(1)協会パンフレット作成

1) 北海道農業法人協会 会員名簿作成

- ・全会員、関係団体等 410部配布予定

8 連携推進活動

(1)北海道・東北農業法人WEEK2010in青森

○開催日：平成22年8月2日（月）～3日（火）

○場 所：古牧温泉青森屋 西館「天平閣」（青森県三沢市古間木山56）

○基調講演：「新・平成の農業と日本一の人財育成を目指して」

長野県 有限会社トップリバー 代表取締役 嶋崎 秀樹 氏

○視察先：

- ・有限会社柏崎青果
- ・株式会社アグリノ里おいらせ
- ・八食センター（八戸市の魚介類総合市場）

(2)社団法人日本農業法人協会総会、セミナーへの参加

1) 第22回総会、春季セミナー

○開催日：平成22年3月12日（金）

○場 所：東京第一ホテル両国（東京都墨田区横綱1-6-1）

○参加者：会長、副会長、事務局

○セミナー：「食料・農業・農村対策における現状」

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 鈴木 宣弘 氏

2) 日本農業法人協会10周年記念イベント

○開催日：平成22年3月13日（土）、14日（日）

○場 所：代々木公園ケヤキ並木通り（野外音楽堂周辺）

○出展者：株式会社谷口農場、株式会社もち米の里ふうれん特産館

3) 第23回総会、夏季セミナー

○開催日：平成22年6月23日（水）、24日（木）

○場 所：東京「明治記念館」新館 2F 富士の間（東京都港区元赤坂2-2-23）

○対象者：会長、副会長、事務局

(3) 社団法人日本農業法人協会担当者会議への参加

- 1) 第1回都道府県会議
 - 開催日：平成22年2月5日（金）
 - 場所：蚕糸会館 6階 第1会議室（東京都千代田区有楽町1-9-4）
 - 参加者：会長
- 2) 都道府県農業組織事務局担当者会議
 - 開催日：平成22年4月26日（月）
 - 場所：銀座フェニックスプラザ（東京都中央区銀座3-9-11 楦紙パルプ会館）
 - 対象者：事務局
- 3) 第4回政策・経営委員会 合同部会
 - 開催日：平成22年5月18日（火）
 - 場所：チサンホテル浜松町（東京都港区芝浦1-3-10）
 - 対象者：会長、副会長
- 4) 第1回北海道・東北ブロック農業法人協会組織会長・事務局合同会議
 - 開催日：平成22年5月25日（火）
 - 場所：ホテルアベスト青森（青森県青森市新町1-11-22）
 - 対象者：会長、事務局
- 5) 第2回都道府県会長会議
 - 開催日：平成22年5月28日（金）
 - 場所：AP 浜松町（東京都港区芝公園2-4-1 ダヴィンチ芝パーク B館地下1階）
 - 対象者：会長
- 6) 第1回北海道・東北ブロック農業法人組織会長会議
 - 開催日：平成22年12月2日（木）
 - 場所：アラスカ（青森市新町1-11-22 地階「トパーズ」）
 - 対象者：会長
- 7) 第2回北海道・東北ブロック農業法人組織会長・事務局担当者会議
 - 開催日：平成23年1月26日（水）
 - 場所：ホテル白萩 3階 松の間（仙台市青葉区錦町2-2-19）
 - 対象者：会長、事務局

(4) 「食クラスター連携協議体」発足式

- 開催日：平成22年5月19日（水）
- 場所：京王プラザホテル札幌（札幌市中央区北5条西7丁目2-1）
- 参加者：堀江会長、事務局

(5) 口蹄疫に関する意見募集及び募金

- 実施日：平成22年6月30日（水）締切
- 対象者：一般会員
- 回答数：5件、日本農業法人協会に提出
- 募 金：10万円を拠出

平成22事業年度収支決算

自 平成22年 2月 1日
至 平成23年 1月31日

1. 総 括

収入総額 12,501,752円也
支出総額 8,989,756円也
差引総額 3,511,996円也

2. 収入の部

(単位：円)

科 目	22年度決算	22年度予算	差額	備 考
1 会 費	5,179,790	6,400,000	-1,220,210	会員会費2万円×261法人
2 賛助会費	300,000	300,000	0	賛助会費10万円×3団体
3 HSC会費	1,950,000	2,000,000	-50,000	会費5万円/口×39法人
4 助 成 金	100,000	100,000	0	日本政策金融公庫
5 寄 付 金	294,200	0	294,200	(株)セルテ
6 雑 収 入	1,799,353	1,940,000	-140,647	
多様な経営展開推進検討会	1,041,398	1,200,000	-158,602	北海道担い手育成総合支援協議会
その他	757,955	740,000	17,955	過年度会費、講師謝金など
7 繰 越 金	2,878,409	2,878,409	0	
計	12,501,752	13,618,409	-1,116,657	

(参考) 会費未納の状況

【会費未納】 一般会員

平成22年度 未納	23 法人	460,000 円
平成21年度 未納	11 法人	220,000 円
平成20年度 未納	6 法人	120,000 円
	計	800,000 円

3. 支出の部

(単位：円)

科 目	22年度決算	22年度予算	差額	備 考
1 会議費	2,497,705	2,900,000	-402,295	
総会及び法人経営セミナー	918,966	1,000,000	-81,034	平成22年2月開催分
会長・副会長会議	236,010	200,000	36,010	5回
役員会	1,271,580	1,500,000	-228,420	4回
会議室使用料	71,149	200,000	-128,851	
2 事業費	4,479,458	5,500,000	-1,020,542	
(1) のぶし経営塾費	943,043	1,300,000	-356,957	
経営実務研修	20,000	300,000	-280,000	2回
専門研修及び懇話会等	923,043	1,000,000	-76,957	7回
(2) 交流活動費	1,143,645	800,000	343,645	
国内外視察交流会	1,143,645	800,000	343,645	平成22年2月、12月 2回分
(3) 専門活動費	1,554,045	2,300,000	-745,955	
専門委員会活動	56,000	500,000	-444,000	
部会活動	506,031	600,000	-93,969	酪農部会、新技術部会
多様な経営展開推進検討会	992,014	1,200,000	-207,986	経営開発部会 49,384円はH21に計上
(4) 人材確保活動費	529,900	600,000	-70,100	
新・農業人フェア協力金	329,900	200,000	129,900	広告協力金、出展補助 13社
農業体験研修推進	0	200,000	-200,000	社団との連携
求人情報更新	200,000	200,000	0	ギャラリー農窓委託
(5) 情報活動費	308,825	500,000	-191,175	
協会広報推進	83,075	200,000	-116,925	
協会パンフレット作成	225,750	300,000	-74,250	会員名簿作成
3 連携推進費	1,506,306	1,200,000	306,306	
全国組織等連携推進	1,506,306	1,200,000	306,306	社団総会、事務会議
4 事務費	404,866	2,700,000	-2,295,134	
事務費	404,866	700,000	-295,134	
事務局人材雇用対策費	0	2,000,000	-2,000,000	
5 雑 費	101,421	118,409	-16,988	振込手数料等
計	8,989,756	12,418,409	-3,428,653	

監査報告

平成22事業年度北海道農業法人協会の会計収支について、その内容を監査した結果、その使途、帳簿、証拠書類等、適正であると認める。

平成23年 2月23日

監事 有限会社 中山農場
中山 勝 志

監事 農事組合法人 緑豊農場
鎌 田 千 晴

監事 有限会社 市川農場
市 川 裕 晃